

我が国の省庁等、政府系機関からは日々多種多様な情報が発信されます。(株)現代文化研究所はそこから広くモビリティに関する注目情報を所定期間にわたりピックアップ、テーマを設定しその切り口から関連情報を整理し、お伝えします。

[今回のテーマ/注目情報] \*モニタリング期間：2020年12月1日～2021年1月31日

## 日本は課題を原動力に次世代物流に構造転換できるか ～デジタル、災害・有事、新しい生活様式、地球環境に対処、その先に日本ブランド物流～

公表情報タイトル：「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」提言がとりまとめられました  
～「簡素で滑らかな物流」、「担い手にやさしい物流」、「強くてしなやかな物流」の実現に向けて～

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000536.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000536.html)

発信元：国土交通省総合政策局物流政策課/道路局企画課道路経済調査室  
2020年12月23日

### (概要)

- ・2020年度は現行「総合物流施策大綱」(17年度～20年度)計画期間の最終年度にあたる。「次期総合物流施策大綱」策定に向けて、学識経験者等による検討会にて、20年7月より、今後の物流施策の在り方の検討が重ねられてきた。
- ・今回、その検討結果が、「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」提言、として取り纏められ、公表された。
- ・提言は、新型コロナウイルス感染症に伴う社会・経済環境の変化によって、先鋭化、明確化した、物流を取巻く環境の変化を整理、これを踏まえて、次期大綱で取組むべき、3つの方向性を提示している。

### 1. 課題認識：物流を取巻く環境の変化

- 1) 人口減少・少子高齢化に伴う労働力不足の社会問題化
- 2) 災害の激甚化・頻発化により露呈した物流ネットワークの脆弱性
- 3) Society5.0の実現によるAI・IoT等の新技術の導入の進展
- 4) 地球環境の持続可能性の確保やSDGsへの対応
- 5) 新型コロナウイルス感染症への対応

### 2. 次期「総合物流施策大綱」が目指す3つの方向性

- 1) 「簡素で滑らかな物流の実現」…主に課題1),3),5)に対応  
物流DX(機械化・デジタル化)を通じた既存オペレーション改善、働き方改革
- 2) 「担い手にやさしい物流の実現」…主に課題1),3)に対応  
労働力不足対策と物流構造改革の推進
- 3) 「強くてしなやかな物流の実現」…主に課題2),4),5)に対応  
強靱で持続可能な物流ネットワークの構築

### 3. 推進体制(従来から変更)

・大綱本体のなかで、目標達成を見極めるための重点KPIを設定し、関連施策の内容を具体化し、有識者がフォローアップ評価を実施することで、統合的な実施と到達管理で、実行性と機動力を高める方向。(従来は大綱に沿って別途策定の「施策推進プログラム」で省庁毎の施策とKPIを設定。国が毎年改定・推進)

### (当社の視点)

- ・新型コロナウイルス感染症を経験し、新たな生活様式に対応し、産業活動を支えるための、エッセンシャルサービスである物流の強化と進化は、日本の喫緊の課題。
- ・日本が目指す次世代の物流のあり姿として、デジタル技術の積極活用と、日本の産業の国際競争力を確保する物流の強靱化、カーボンニュートラルな物流の実践による地球環境・SDGsへの貢献、が特徴的である。
- ・次世代物流の実現を通じて獲得した、新技術の社会実装や仕組み等のノウハウを新たな付加価値にできれば、「日本ブランド」物流で海外輸出するビジネスチャンス拡大につながるものと考えます。

### 2020年代物流：目指す方向と主な施策

| 対応方向             | 求められる主な施策  |
|------------------|--|
| 1. 簡素で滑らかな物流の実現  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物流デジタル化(手続書面の電子化の徹底等)</li> <li>・労働力不足や非接触・非対面型の物流に資する自動化・機械化(隊列走行やロボット導入支援等)</li> <li>・物流標準化</li> <li>・物流・商流データ基盤整備(基盤構築と社会実装、物流MaaS推進)</li> </ul>                     |
| 2. 担い手にやさしい物流の実現 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラックドライバーの時間外労働の上限規制(2024年度～)への対応</li> <li>・農林水産物・食品等の流通合理化(ストックポイントの整備、卸売市場での自動化・省人化)</li> <li>・過疎地域での持続可能なラストワンマイル配送(貨客混載、共同配送、ドローン物流等)</li> </ul>                   |
| 3. 強くてしなやかな物流の実現 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症や大規模災害でも機能する強靱・持続可能な物流ネットワークの構築</li> <li>・産業の国際競争力や持続可能な成長に繋がる物流ネットワークの構築</li> <li>・カーボンニュートラルな物流ネットワークの構築(モーダルシフトの一層の推進、荷主連携で物流効率化、各輸送モードの低炭素化・脱炭素化促進等)</li> </ul> |

出典)国土交通省  
「2020年代の総合物流施策大綱に関する有識者検討会」提言より

### 関連情報

- ・「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」(開催状況第1回～7回、2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会提言)  
[https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu\\_freight\\_tk1\\_000180.html](https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_000180.html)
- ・「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」(【参考資料1】次期総合物流施策大綱の概要(4枚版))  
<https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/content/001379826.pdf>
- ・「総合物流施策大綱(2017年度～2020年度)概要」  
[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000419.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000419.html)
- ・「総合物流施策推進プログラム」  
<https://www.mlit.go.jp/common/001219682.pdf>

お問合せ：(株)現代文化研究所 市場戦略情報第1領域 <https://www.gendai.co.jp/inquiry>